

令和3年 12月 14日発行

「もみじ台南中学校ともみじ台中学校の統合についての説明会」の報告

令和3年10月25日（月）にもみじ台南中学校、同年10月26日（火）にもみじ台中学校にて、「もみじ台南中学校ともみじ台中学校の統合についての説明会」を開催いたしました。小中学校の保護者や地域住民の皆様にご参加いただき、札幌市教育委員会から説明をしたのちに、参加者の皆様からのご質問ご意見にお応えしました。



札幌市教育委員会からの説明

<統合の検討経緯>

もみじ台地区の生徒数はピーク時から大きく減少しており、現在のもみじ台南中学校は3学級84名、もみじ台中学校は7学級238名です。札幌市では中学校の適正規模を12～18学級（少なくとも6学級以上）と定めており、小規模校は人間関係の固定化や部活動の選択肢が限られることなどの教育面の課題、教員の業務負担が増えることやすべての教科の担任を配置できない可能性があるなどの学校運営面の課題があることから、学校統合などの手法により学校規模の適正化を進めております。

もみじ台地域の小中学校PTA役員の皆様や教員も、上記のような課題感を抱いていたことから、令和2年12月に「もみじ台地域学校規模適正化検討委員会」を発足し、PTAや教員、地域住民の代表者の方々が委員となって、小規模校の課題解決のためにご検討いただきました。上記検討委員会にて協議した結果、下記のとおり意見が一致し、意見書を教育委員会に提出されました。これを受けて、札幌市教育委員会は令和4年4月にもみじ台中学校ともみじ台南中学校を統合する準備を開始しました。

意見書概要

- 生徒の気持ちに寄り添いながら一定の準備期間を設け、かつ、速やかに両校の小規模化による課題解消をすることを考慮し、令和4年4月の統合を目指していただきたい。
- 敷地面積や改修工事の状況等を考慮して、もみじ台中学校を活用すること。
- 統合に必要な事項については、学校、教育委員会が中心となり検討を進めていただきたい。
- 将来的に、もみじ台地区の中心部に小中一貫校を設置し、子育て世代が住みよいまちづくりをしていただきたい。

<新しいもみじ台中学校の通学区域>

統合後の通学区域は、両校の通学区域を合わせた区域となります。通学距離が延びる生徒がいることから、バス代の助成や自転車通学を希望するご意見がありました。しかし、札幌市では通学距離が3kmを超える生徒に対してバス定期料金を助成する制度はありますが、新しい通学区域においては全生徒の通学距離が3km以内のため助成対象となる家庭はありません。

また、札幌市の小中学校では自転車通学についても認めておりません。事故の危険性や事故の加害者となった場合の責任の大きさを考慮し、自転車通学の導入は難しいと考えております。

<新しいもみじ台中学校の開校準備の状況>

これまでに実施した、両校合同の行事等について紹介しました。

2021年2月	もみじ台中学校・もみじ台南中学校全教員合同集会（教員）
2021年3月～4月	年間行事予定の打合せ（教員）
2021年5月	学校統合推進会議（教員）※以後、月1回程度開催
2021年7月	「新標準服・新ジャージ」プレゼンテーション会（教員・PTA）
2021年8月	生徒会による google meet を活用した交流会（生徒）
2021年9月	新標準服・ジャージ決定
2021年9月	もみじ台中学校・もみじ台南中学校 PTA 関係の合同会議（PTA）
2021年10月	もみじ台中学校・もみじ台南中学校統合記念陸上競技大会（生徒）
2021年10月	AIR-DO による職業講話会（生徒）

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況次第ですが、今年度中に両校の生徒による合同授業等の開催を検討しております。

<今後のスケジュール>

2021年12月	もみじ台中学校にて保護者説明会
2022年3月	もみじ台南中学校閉校
2022年4月	新しいもみじ台中学校開校

※もみじ台南中学校の校舎は2022年度以降に解体工事を実施する予定です。

参加者からのご質問、ご意見

●両校の交流について今後も交流授業等の開催を検討していますか？

(もみじ台中学校長回答)

学校祭や合唱コンクールなどの行事についても合同で開催したいと検討していましたが、新型コロナウイルス感染症が収束していない状況なので合同の開催はできませんでした。今後も交流を進めていきたいと考えていますが、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら検討していきます。

●今はもみじ台中学校は給食を作って提供しているが、来年度からは別の中学校から運ばれてくるようになる」と聞きました。今まで温かい給食を食べられていたのに、レベルが落ちた給食を食べることになるのではないかと、保護者としては心配です。

(教育委員会回答)

札幌市全体では、他校から給食を運んでいる学校が一定数あり、保温して運搬しているので、冷めたり味が落ちたりするということはないように配慮しております。

(もみじ台南中学校教頭回答)

現在もみじ台南中学校は子学校として上野幌中学校で調理した給食の提供を受けています。私も毎日食べていますが、給食が冷めているという実感はありません。また、これまで赴任した学校では親学校も経験しましたが、子学校でも十分に温かいものが提供されているので、その点をご心配いただくなくて大丈夫だと考えています。

●一番遠い子で片道徒歩 30 分程度かかるので、暗い道を 30 分かけて歩いて帰るとなると、犯罪に巻き込まれる可能性などが考えられます。バス通学や自転車通学を認めることは検討できないでしょうか。「徒歩通学は体力づくりや登下校の交流、交通安全の遵守など子どもの成長につながる側面もある」とニュースに書いていましたが、自転車通学でも体力づくりはできるし、自転車通学のほうが交通ルールを学ぶいい機会になると思います。

(教育委員会回答)

札幌市全体のルールとして通学距離が3km以内の中学生へのバス代の助成はできません。自転車通学についても、事故の危険性や加害者になってしまった場合の責任の大きさ等を考慮すると、認めることは難しいと考えております。皆様にはご心配やご負担をおかけすることになりますが、ご理解いただくと幸いです。

(もみじ台中学校長)

バス代の助成は受けられないのですが、バス通学自体が全く認められないということではありません。ご心配な方がいらっしゃいましたら、学校に個別にご相談ください。

●もみじ台地区の中心地に小中一貫校を設置するのはいつ頃を目標としていますか。

(教育委員会回答)

令和3年3月に札幌市で「札幌市における義務教育学校の設置方針」を定め、小学校と中学校の校区が概ね一致していることなどの条件が整っている地域において、義務教育学校の設置を検討することとしております。

もみじ台地区学校規模適正化検討委員会からいただいた意見書だけでなく、もみじ台地区のまちづくり会議でご検討いただいているもみじ台のまちづくりビジョンの中でも小中一貫校の設置について要望されることも聞いておりますので、地域の皆様のご意向を極力尊重していきたいと考えておりますが、これから中学校が統合するという状況ですので、現時点ではスケジュールをお示しできる段階ではありません。皆様にお示しできる段階になったときに改めてお知らせする形になると考えております。

●統合によってどれくらい教員が増えて、部活動が増える見込みでしょうか？

(もみじ台中学校長回答)

現在、もみじ台中学校は7学級ですが、4月からは10学級になる予定で、教職員は5名程度の増加を見込んでおります。教職員の異動もあるので現時点では未定ですが、両校の部活動はできるだけ現状維持もしくは増やしていけたらという気持ちでいるところです。

●令和4年度の新2年生と新3年生は今の標準服・ジャージでしょうか？

(もみじ台中学校長回答)

新しい標準服・ジャージは新1年生を対象としておりますので、現在のもみじ台中学校の標準服・ジャージともみじ台南中学校の標準服・ジャージ、そして新しい標準服・ジャージが混在することになります。

札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課（学校規模適正化担当）
〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目STV北2条ビル5階
TEL 011-211-3836 / 011-211-3837
E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-S01-21-1986
R3-2-1284